

「鶴川図書館大好き!の会」 便り No.2

2021.10.17発行.

鶴川図書館を存続させ、市の直営を継続してください！
市が、鶴川図書館を“集約”するとして鶴川駅前図書館は、2022年4月から指定管理者(久美堂・ヴィアックス共同事業体)が運営することが決まりました。

2020年2月に策定された「効率的・効果的図書館サービスのアクションプラン」で、鶴川図書館については、「2022年度、UR都市機構の鶴川団地センター街区建替計画の進捗に応じて、両図書館の集約の具体化を進める。ただし、URによる建て替えが長期化する場合には、代替機能の配置など検討を建替え計画に先行して行う。代替機能の配置にあたっては、地域団体等による運営を支援する体制を積極的に検討する」と記しています。これって、図書館ではなくなるってこと？



ずっと前に鶴川図書館を残してという請願に署名したのはどうなったの？

請願は2017年の秋に市議会に提出したら、全会一致で採択されたんだ。

請願が通ったのに…鶴川図書館を駅前図書館に集約するというのは、鶴川図書館をなくすということなの？

そうなんだよ。この請願を無視して、「図書館のあり方見直し方針」を策定、さらに具体的な「効率的・効果的図書館のアクションプラン」も発表されたんだ。その中で鶴川駅前図書館の指定管理者制度導入と鶴川図書館の集約について、2022年度に実行という計画が掲げられている。



もう一回請願の署名をしたんだけど、それはどうなったの？

駅前図書館の指定管理というと市の職員ではなくて、業者の人が図書館サービスをするようになるの？プライバシーとか心配だわ。せめて、鶴川図書館は、しっかりと市の職員の人にサービスを行ってもらいたいわ。

「アクションプラン」はアクションプランを見直してほしいという教育委員会への請願を無視して、2020年2月に策定されてしまい、議会に出した請願も継続審査を経て否決されてしまったんだ。鶴川図書館を何らかの形で残すということは市の答弁で出ているんだけど、どのような形で残すかが大きな問題なんだ。



学校図書館だけでは調べられないときには、図書館に行って調べたり、司書の方に相談に乗ってもらいの…。鶴川図書館ならすぐそばなので、行きやすいけれど、駅前まで行くのはちょっと大変！



鶴川図書館は市で直営を続けてもらい、私たちは図書館がもっと魅力的になるように協力したいんです！



「鶴川図書館大好き!の会」の集まりに参加して、一緒に鶴川図書館を盛り上げませんか？次回の集まりは、11月7日(日)14:00~16:30 鶴川市民センター第1会議室で行います。(会の活動については裏面をご覧ください。)

お問合せ・連絡先:090-1863-5174 鈴木真佐世 suzumasa3964@gmail.com

＜鶴川図書館大好き！の会＞発足の経過と活動

2017年度に「町田市公共施設再編計画」案が出され、その中で鶴川図書館が鶴川駅前図書館に集約という名目での閉館の方針が掲げられた。9月に存続を求める請願を市議会に提出し、請願が全会一致で採択されたにもかかわらず、**2018年**に策定された「町田市立図書館のあり方見直し方針」の中でも、再び鶴川図書館の集約の方針が掲げられた。

2019年度

- ・鶴川地域で鶴川図書館を大事に思い、存続を願う住民を中心に当会を立ち上げた。
- ・5月26日、鶴川団地バザー、7月27日28日の2日間鶴川団地夏祭りに参加。
11月16日（土）鶴川図書館応援まつりを会独自のイベントとして開催。これらのイベントで、古本市、鶴川図書館クイズ、おはなし会など、図書館、本、お話を大人も子供も楽しみつつ、鶴川図書館の現状を伝えたり、市長への要望書の署名を集めた。まつりでは、当会の活動に賛同する多くの団体（みどりの森保育園のママさんブラス、鶴川冒険あそびの会、「すみれ」朗読の会、NPO町田市レクリエーション連盟、柿の木文庫 の皆さん）に協力いただいた。
- ・その後も署名活動を継続し、8200筆の署名を市長に2回にわたって届けた。
- ・12月、市長への存続を求める要望書の署名を再度市長に届けた。市長には会えず、副市長、生涯学習部長同席のもとで手渡した折に、今後は鶴川図書館をどのようにしていくか、地域住民と図書館とで話し合いの場を持つよう約束を取り付けた。
- ・一方、図書館の再編計画には、市民の声は聞き入れられず、秋に作成された「効率的・効果的な図書館のアクションプラン」の中でさらに具体的になり、2022年度から鶴川駅前図書館を指定管理に、鶴川図書館を集約する計画が打ち出されたため、再度短期間ではあったが、「アクションプラン」の再考を願う請願の署名を集め、2月の教育委員会に提出した。しかし、一顧だにされずに否決され、アクションプランはその時点で策定された。続いて、3月議会に請願を提出したが、継続審査となり、6月議会を経て、9月議会で、自民党や公明党の賛同が得られず、賛成少数で否決されて終わった。

2020年度

- ・図書館側との意見交換の場を数回にわたって持った。その中で、市民協働による図書館運営も可能性として示唆された。会としては、その事例として八王子市立図書館を見学・調査し、その可能性も探った。
- ・10月、11月には、会の活動として、「ipadで絵本づくりワークショップ」、講演会「前川喜平さんと考える生涯学習と図書館」（共催）、「第2回鶴川図書館応援まつり」、「みんなで楽しく、読み聞かせカフェ」などのイベントを開催し、地域の方と一緒に考える機会とした。
- ・2020年2月と3月に市の主催の「鶴川図書館再編後の姿を考えるワークショップ」に参加。

2021年度

- ・4月に「疎開した40万冊の図書」の映画上映会&金高謙二監督講演会を鶴川市民センターのホールで開催。90人の方々と共に、いつの時代にも変わらない図書・図書館の大切さについて考え合った。
- ・4月末から8月まで数回、当会主催で「公立図書館を市民参画によって支えるためのワークショップ」をオンラインで開催。その中で、市の直営で図書館を運営、市民は、図書館がより良くなるためにいろいろな工夫、協力をすることが市民協働のあり方であるとの結論に至った。
経費を節減しつつ市の直営を維持する方法として、会計年度任用職員（月16日勤務）を中心とした運営を行っている荒川区立図書館のことを調査。このような運営方法を次善の策として図書館側に提案することにした。
- ・市民協働のあり方として、今回の第3回応援まつりのように、皆が図書館をより身近に感じ、もっと利用したいと思えるようないろいろなアイデアを募り、実践することで図書館に協力していきたいと考えている。
- ・図書館側と面談を行った：10月5日に、会の代表数名が図書館館長及び担当職員と初めて面談を行い、今後の鶴川図書館の運営と市民協働のあり方について、私たちの提案を伝えた。そして、図書館側が、私たちの提案を真剣に受け止めて少しでも考えを前進させていただきたい旨を伝えたが、図書館側からは、市民協働のプロジェクト等についてのいろいろな提案は参考になった、運営のあり方については、市民からの意見として受け止め、今後、ほかの市民団体からも意見を聞いて、考えていきたいという回答にとどまった。残念ながら具体的な進展はあまり見られなかったが、今後も図書館側とは意見交換を続けていきたい。